

ご注意事項

本資料は、勉強会の為に作成されたものであり、有価証券の取引、その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何らの責任を負うものではありません。

本資料で記載しております価格、数値、金利等は概算値または予測値であり、諸情勢により変化し、実際とは異なる場合がございます。また、本資料は将来の結果をお約束するものではなく、お取引をなさる際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承くださいませようをお願いいたします。

加入協会

日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

商号等

楽天証券株式会社／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

投資にかかる手数料等およびリスク

【外国株式等の取引にかかるリスク】

外国株式等は、株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、為替相場の変動等により損失（為替差損）が生じるおそれがあります。上場投資信託（ETF）は連動対象となっている指数や指標等の変動等、上場投資証券（ETN）は連動対象となっている指数や指標等の変動等や発行体となる金融機関の信用力悪化等、上場不動産投資信託証券（REIT）は運用不動産の価格や収益力の変動等により、損失が生じるおそれがあります。

【レバレッジ型、インバース型ETF及びETNのお取引にあたっての留意点】

上場有価証券等のうち、レバレッジ型、インバース型のETF及びETN（※）のお取引にあたっては、以下の点にご留意ください。

- レバレッジ型、インバース型のETF及びETNの価額の上昇率・下落率は、2営業日以上の場合、同期間の原指数の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じたものとは通常一致せず、それが長期にわたり継続することにより、期待した投資成果が得られないおそれがあります。
- 上記の理由から、レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、中長期間的な投資の目的に適合しない場合があります。
- レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、投資対象物や投資手法により銘柄固有のリスクが存在する場合があります。詳しくは別途銘柄ごとに作成された資料等でご確認いただく、またはコールセンターにてお尋ねください。

※「上場有価証券等」には、特定の指標（以下、「原指数」といいます。）の日々の上昇率・下落率に連動し1日に一度価額が算出される上場投資信託（以下「ETF」といいます。）及び指数連動証券（以下、「ETN」といいます。）が含まれ、ETF及びETNの中には、原指数の日々の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じて算出された数値を対象指数とするものがあります。このうち、倍率が+（プラス）1を超えるものを「レバレッジ型」といい、-（マイナス）のもの（マイナス1倍以内のものを含みます）を「インバース型」といいます。

【米国株式の信用取引にかかるリスク】

米国株式信用取引の対象となっている株式等の株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。米国株式信用取引は差し入れた委託保証金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。その損失額は差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。また、米国株式信用取引は外貨建てで行う取引であることから、米国株式信用取引による損益は外貨で発生します。そのため、お客様の指示により外貨を円貨に交換する際の為替相場の状況によって為替差損が生じるおそれがあります。

投資にかかる手数料等およびリスク

【外国株式等の取引にかかる費用】

〔現物取引〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

分類 取引手数料

米国株式 約定代金の0.495%（税込）・最低手数料：0米ドル・上限手数料：22米ドル（税込）

中国株式 約定代金の0.275%（税込）・最低手数料：550円（税込）・上限手数料：5,500円（税込）

アセアン株式 約定代金の1.10%（税込）・最低手数料：550円（税込）・手数料上限なし

※当社が別途指定する銘柄の買付手数料は無料です。

※米国株式の売却時は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

※中国株式・アセアン株式につきましては、カスタマーサービスセンターのオペレーター取次ぎの場合、通常の手数料に2,200円（税込）が追加されます。

〔米国株式信用取引〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引手数料

約定代金の0.33%（税込）・最低手数料：0米ドル・上限手数料：16.5米ドル（税込）

※当社が別途指定する銘柄の新規買建または買返済時の取引手数料は無料です。

※売却時（信用取引の場合、新規売建/売返済時）は上記の手数料に加え、別途SEC Fee（米国現地取引所手数料）がかかります。詳しくは当社ウェブページ上でご確認ください。

- 米国株式信用取引には、上記の売買手数料の他にも各種費用がかかります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。
- 米国株式信用取引をおこなうには、委託保証金の差し入れが必要です。最低委託保証金は当社が指定する30万円相当額、新規建て時に最低必要な委託保証金率は50%、委託保証金最低維持率（追証ライン）が30%です。委託保証金の保証金率が30%未満となった場合、不足額を所定の時限までに当社に差し入れていただき、委託保証金へ振替えていただくか、建玉を決済していただく必要があります。

ETF/ETNのリスク（抜粋）

【複雑な商品設計のETF/ETNについての注意点】

ETF/ETNの中には、ボラティリティ指数先物を対象としたETF/ETNやカバードコール戦略を取り入れたETF/ETNなど、先物取引やオプション取引を組み入れている場合があります。そのようなETF/ETNは、先物のルールによる価格変動、対象指数等そのものの急激な値動き等によって想定外の値動きをする場合があります。

また、レバレッジ型ETF/ETNやインバース型ETF/ETNは、原指標の日々の変動率に一定の倍数を乗じて算出されるレバレッジ型指標に連動するよう運用されます。そのため、値動きや想定されるリターンは、通常のETF/ETNとは異なる特性を有しています。

複雑な商品設計のETF/ETNに投資される際は、商品設計を開示書類等でご確認していただき、十分ご理解していただいた上で投資をしてください。

【ETFにおける信用リスク】

リンク債型ETFやOTCデリバティブ型ETFなどにおいては、ETFが投資に用いるリンク債の発行体またはETFのOTCデリバティブ取引の相手方の財務状況の悪化などにより基準価額が大きく下落する信用リスクが存在します。これらのETFの投資にあたっては、商品設計を予めご確認ください。

【ETN発行体の信用リスク】

ETNは、裏付となる資産を保有せず、発行体となる金融機関の信用力をもとに価格が特定の指標に連動することを保証する債券です。そのため、発行体の倒産や財務状況の悪化、信用格付の引き下げ等の影響により、ETNの価格が下落または無価値となる可能性、また、償還時に発行体が償還金額を支払わない、または支払うことができない可能性があります。このような結果、損失が生じる可能性があります。

【早期償還等のその他のリスク】

市場動向の急変時や資産総額が小さくなった場合など、管理会社等が運用の継続が困難であると判断した場合は、運用を終了し、繰り上げ償還をする可能性があります。取引所が定める上場廃止基準に該当した場合は、上場廃止となる可能性があります。

詳細は、当社HPの「ETF/ETNのリスク」をご覧ください。

目次

1. 米国株市況

2. ETFのススメ

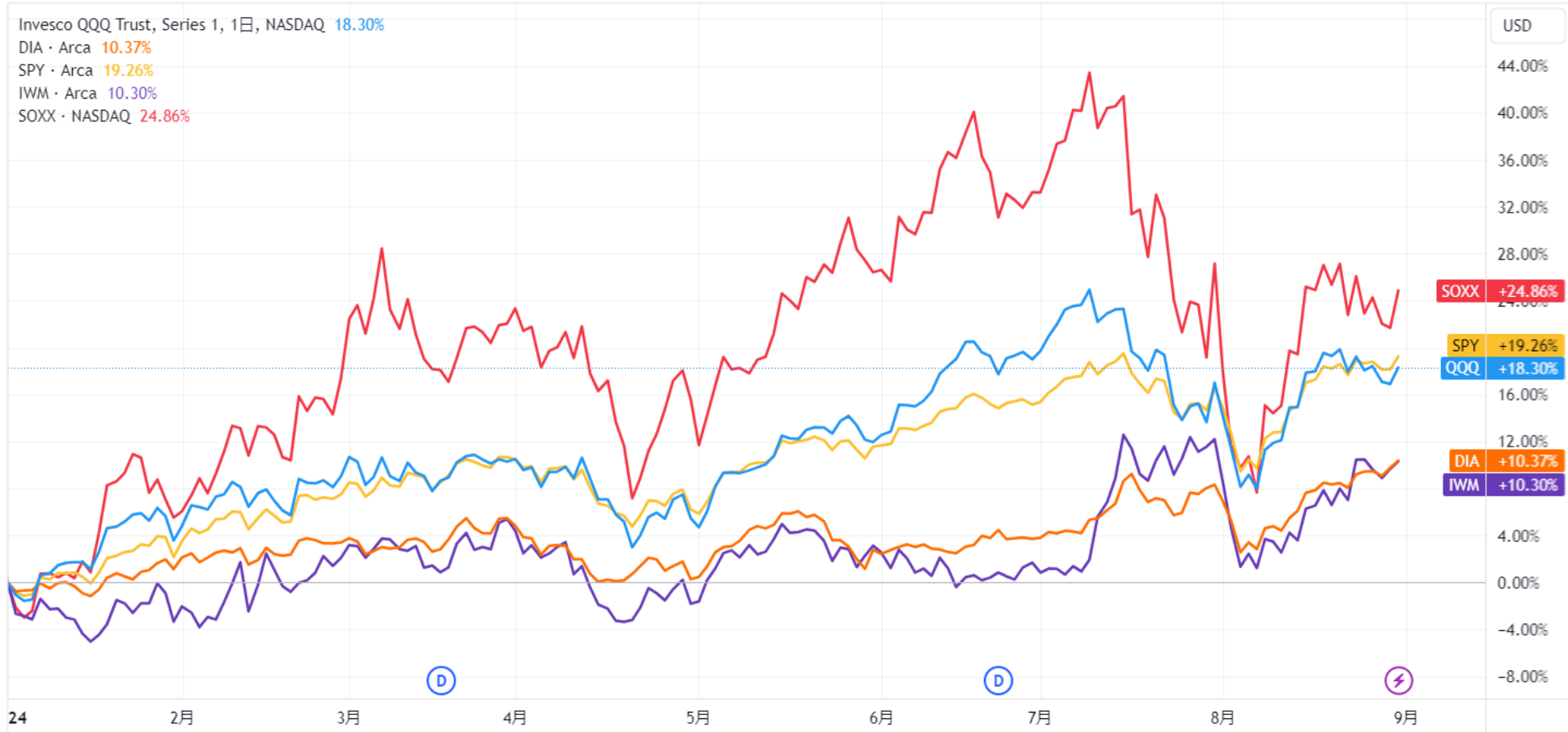
- ETFをすすめる4つの理由
- 楽天ランキングから探そう
- オススメETF9選

3. 終わりに

米国株市況-指数レベル

ナスダックは3か月前から変化無し。ダウとラッセルが遅れを取り戻す。

momiage0088 が TradingView.com で 9月 01, 2024 02:00 UTC-5 に公開



年初来

半導体指数+24.86%

ナスダック+18.30%

ダウ+10.37%

S&P500+19.26%

ラッセル+10.3%

赤：半導体指数

青：ナス

オレンジ：ダウ

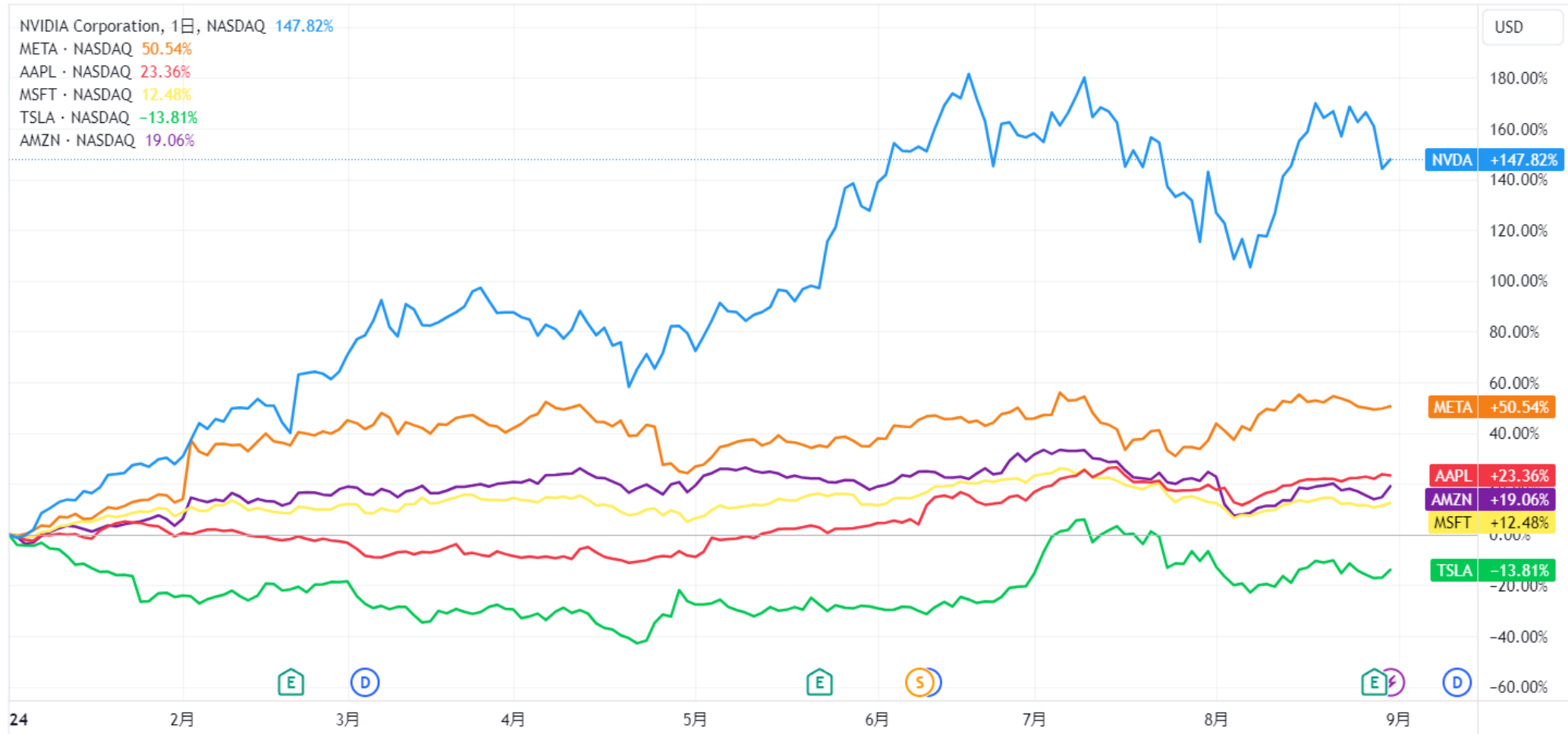
紫：ラッセル

黄色：SP500

米国株市況-テック大型株

NVDA (+169.08%)が圧倒的・次点としてはMETA(45.57%)が引っ張る

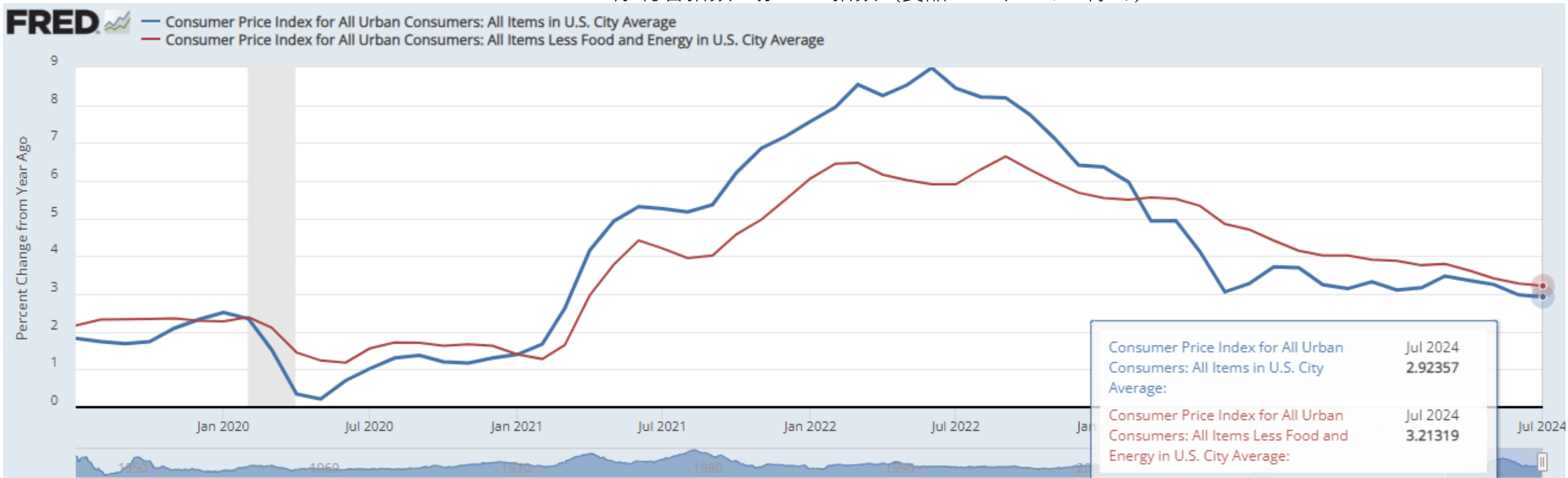
momiage0088 が TradingView.com で 9月 01, 2024 02:07 UTC-5 に公開



米国株市況-インフレ率の変遷

- ・ CPI総合指数はインフレ後退
- ・ CPIコア指数はインフレ後退

青:総合指数 赤:コア指数 (食品とエネルギー除く)

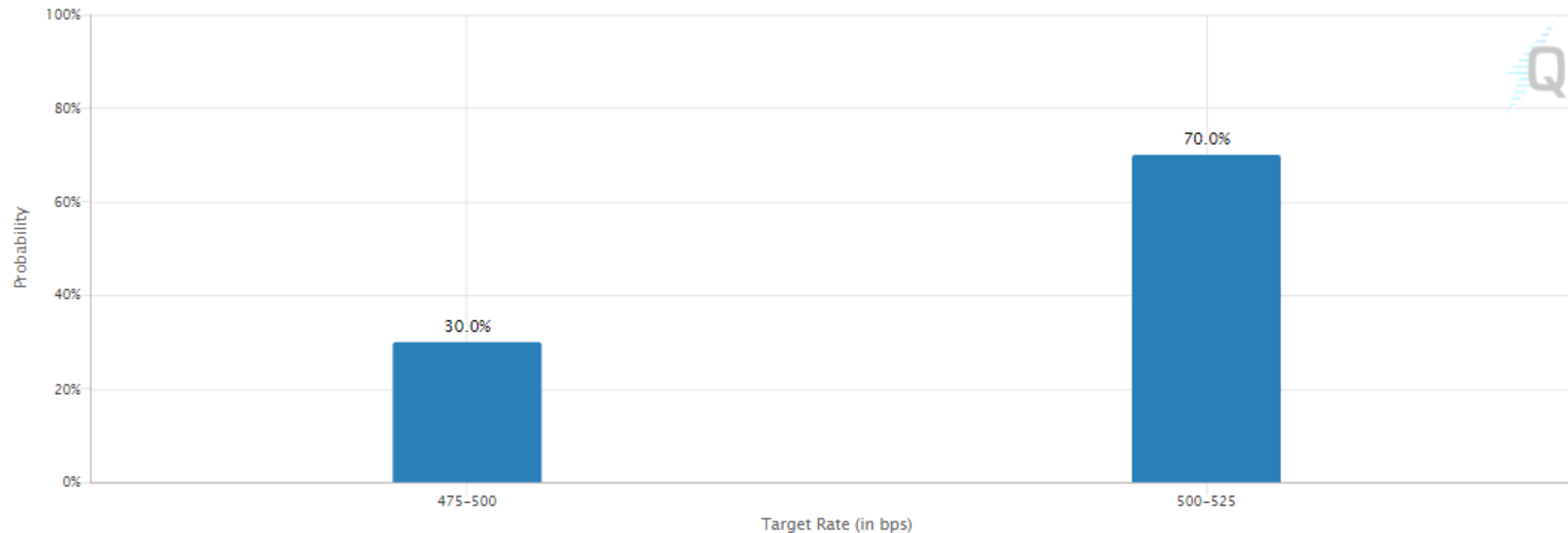


米国株市況-FOMC予想 (9月)

2024年9月FOMC政策金利予想：今の所1回の利下げが優勢 (0.25%/回)

TARGET RATE PROBABILITIES FOR 18 9 2024 FED MEETING

Current target rate is 525-550



TARGET RATE (BP\$)	PROBABILITY(%)			
	NOW *	1 DAY 30 8 2024	1 WEEK 23 8 2024	1 MONTH 1 8 2024
475-500	30.0%	30.0%	36.0%	22.0%
500-525	70.0%	70.0%	64.0%	78.0%

* Data as of 1 9 2024 02:04:31 CT

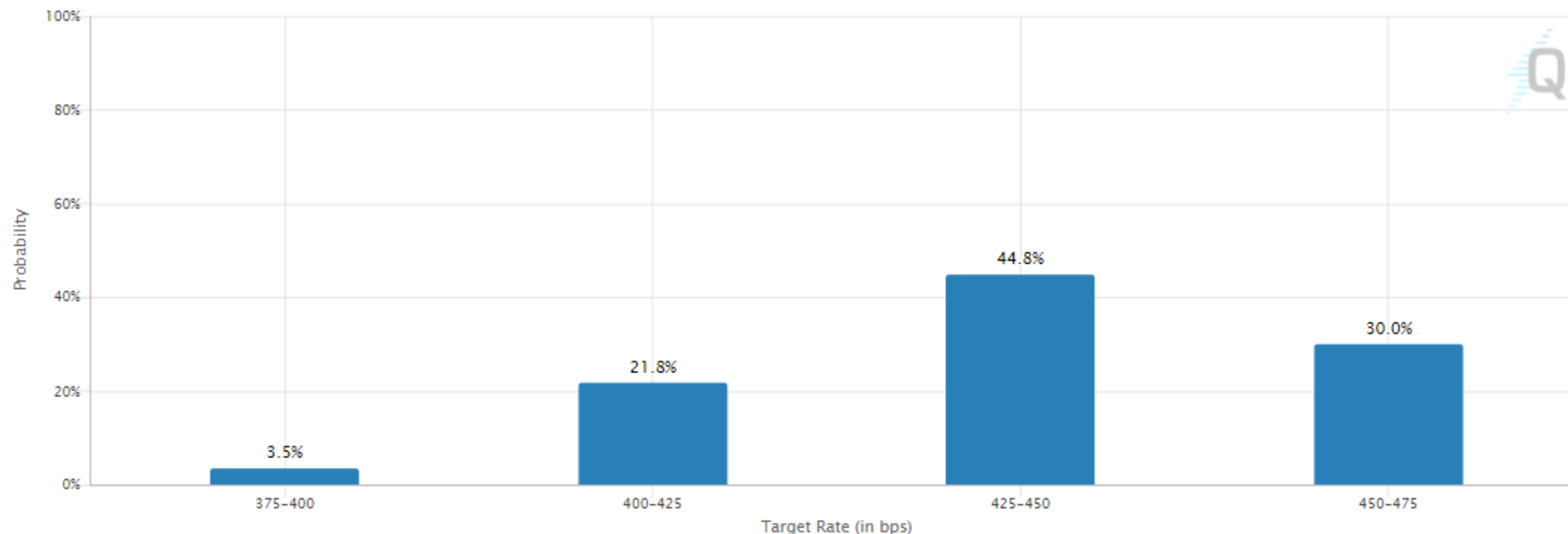
<https://www.cmegroup.com/ja/markets/interest-rates/cme-fedwatch-tool.html>

米国株市況-FOMC予想(9月時点)

2024年12月FOMC政策金利予想：今の所3-4回の利下げが優勢（0.25%/回）

TARGET RATE PROBABILITIES FOR 18 12 2024 FED MEETING

Current target rate is 525-550



TARGET RATE (BPS)	PROBABILITY(%)			
	NOW *	1 DAY 30 8 2024	1 WEEK 23 8 2024	1 MONTH 1 8 2024
375-400	3.5%	3.5%	5.5%	0.0%
400-425	21.8%	21.8%	27.1%	2.5%
425-450	44.8%	44.8%	43.0%	28.1%
450-475	30.0%	30.0%	23.5%	68.9%
475-500	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%

米国株市況-自社株買い

- ・ 旺盛な自社株買いに支えられる米国市場
- ・ 企業の資金が潤沢で2024年は記録的な自社株買い市場になっている

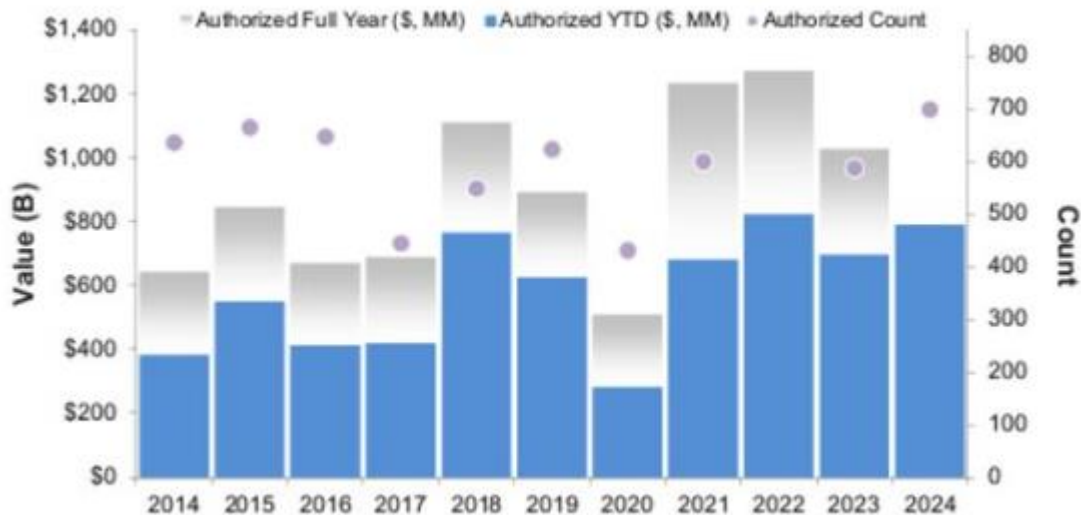
2024年第二四半期時

- ・ 22週連続で水準を上回る
- ・ 過去11年間で自社株買い最多
- ・ 2024年8262億ドル予定（前年同期対比15%増）

2024年8月時

- ・ 新規で1070億ドルの自社株買い発表
- ・ 8月は最高額を17%更新
- ・ 企業のキャッシュフローが潤沢

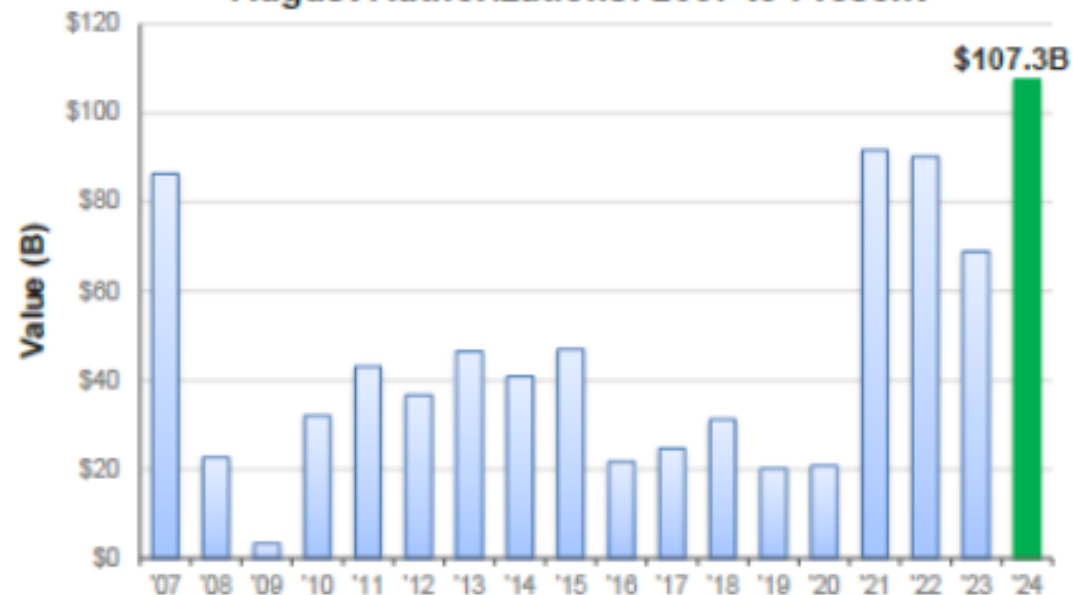
Buyback Authorizations: 2014 to Present



承認された自社株買い枠（2014年から現在） 出所：ピリニー・アソシエーツ

<https://www.bloomberg.co.jp/news/articles/2024-08-15/SI9RWKTOAFB400>

August Authorizations: 2007 to Present



<https://www.bloomberg.co.jp/news/articles/2024-09-04/SJAHU3TOAFB400>

米国大統領選挙状況

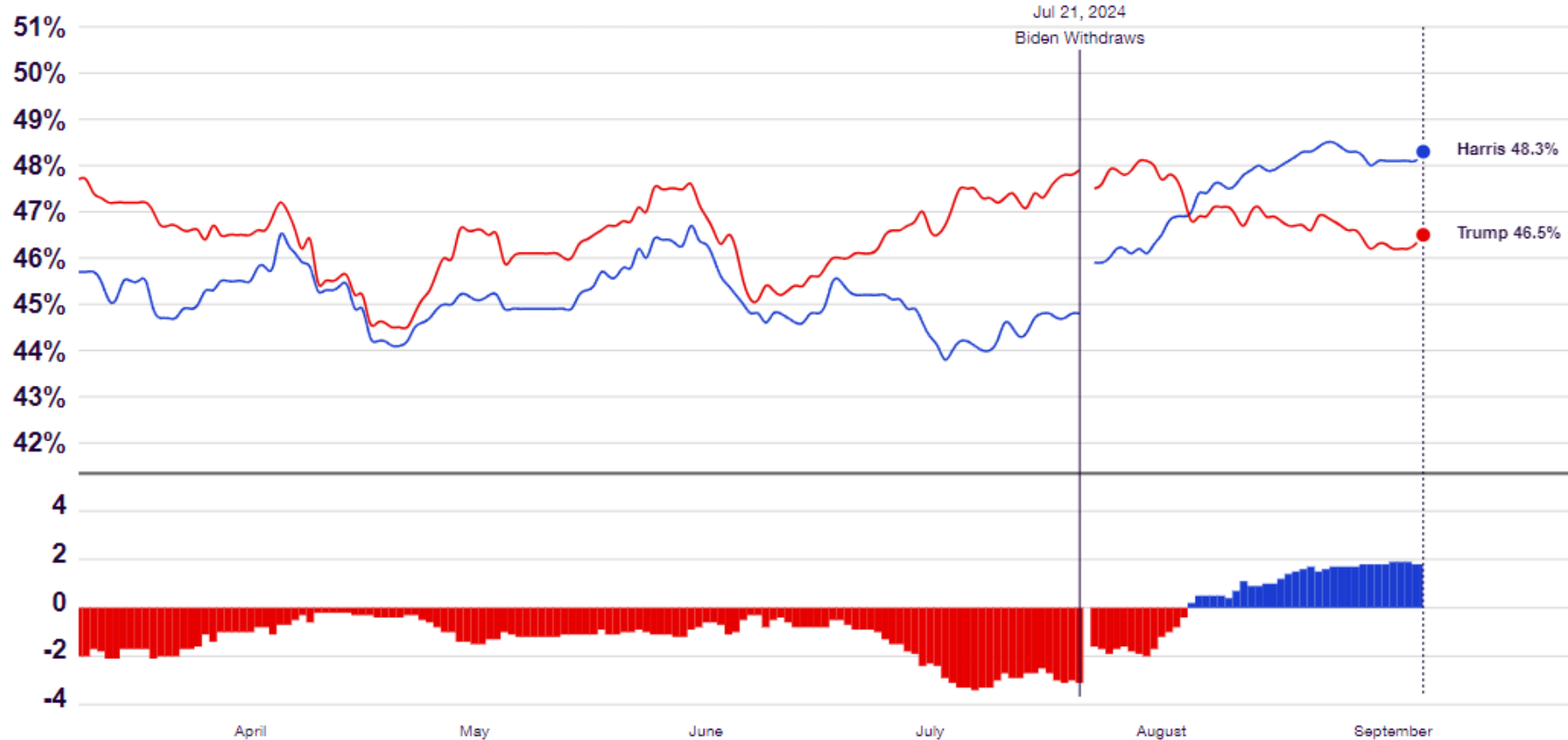


RealClearPolitics Poll Average

48.3 Harris +1.8 46.5 Trump

Trump vs. Harris

(Trump vs. Biden Before July 21, 2024)



米国株市況-2024年サマリー

・ここまで

- ①半ばQE(Quantitative Easing：量的緩和)状態
- ②AIが強烈なトレンド・テーマになり関連銘柄が全体の押し上げ
- ③米国企業の底堅い決算（駄目な企業は淘汰される）
- ④利上げか利下げかを繰り返しながらも過熱しすぎない需給状態

・これから

- ①弱まりつつある
- ②AIブームが終わりかけ・もしくは終わった
- ③底堅い決算は継続も一部陰りが
- ④利下げ催促相場（9月FOMC 25BPSか50BPSか→最速は続く）

+11月に予定される大統領選挙

米国株ETFのススメ

ETF投資をオススメする4つの理由

- ① プロの運用会社が構成した株式パッケージ
- ② リスクリワードが高くなる可能性が高い
- ③ 運用に時間を要しない・費用対効果が高い
- ④ 長期で保有・運用しやすい

①世界3大資産運用会社

- ・ トップ20の運用会社の占める割合は運用資産残高全体の44%（2020年末）
 - ・ 2011年から10年間でトップ500社の211社が消えた
 - ・ アメリカの上場企業の40%ほどの企業の株主
- 現在も資産運用会社の全体に占める割合は増え続けている

1. ブラックロック（BlackRock）世界最大の資産運用会社。アメリカに本社を持ち、機関投資家や個人投資家向けに多様な資産運用商品を提供しています。管理資産は約10兆ドル以上にのびります。
2. バンガード・グループ（Vanguard Group）アメリカに本社を置く世界第2位の運用会社。特にインデックスファンドやETF（上場投資信託）で有名です。管理資産は約7兆ドル以上。
3. ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ（State Street Global Advisors）アメリカの大手金融サービス会社であるステート・ストリートの資産運用部門。世界第3位の規模を誇ります。管理資産は約4兆ドル以上。

①世界3大資産運用会社-代表ETF

ブラックロック

①iShares Core S&P 500 ETF (IVV)

- 概要: S&P 500指数に連動するETFで、アメリカの大型株に投資します。
- 特徴: 米国株式市場全体のパフォーマンスを反映

②iShares Russell 2000 ETF (IWM)

- 概要: ラッセル2000指数に連動するETFで、アメリカの小型株に投資します。
- 特徴: 小型株の成長に期待する投資家向け。

バンガードグループ

①Vanguard S&P 500 ETF (VOO)

- 概要: S&P 500指数に連動するETFで、アメリカの大型株に投資します。
- 特徴: 米国株市場の主な企業のパフォーマンスに追随

②Vanguard Total Stock Market ETF (VTI)

- 概要: CRSP US Total Market Indexに連動し、米国株式市場全体に投資します。
- 特徴: 大型株、中型株、小型株を含む全体の市場に分散して投資可能

ステートストリート

①SPDR S&P 500 ETF Trust (SPY)

- 概要: 世界で最も取引量の多いETFで、S&P 500指数に連動
- 特徴: 市場のベンチマークとして機関投資家・個人投資家双方に人気

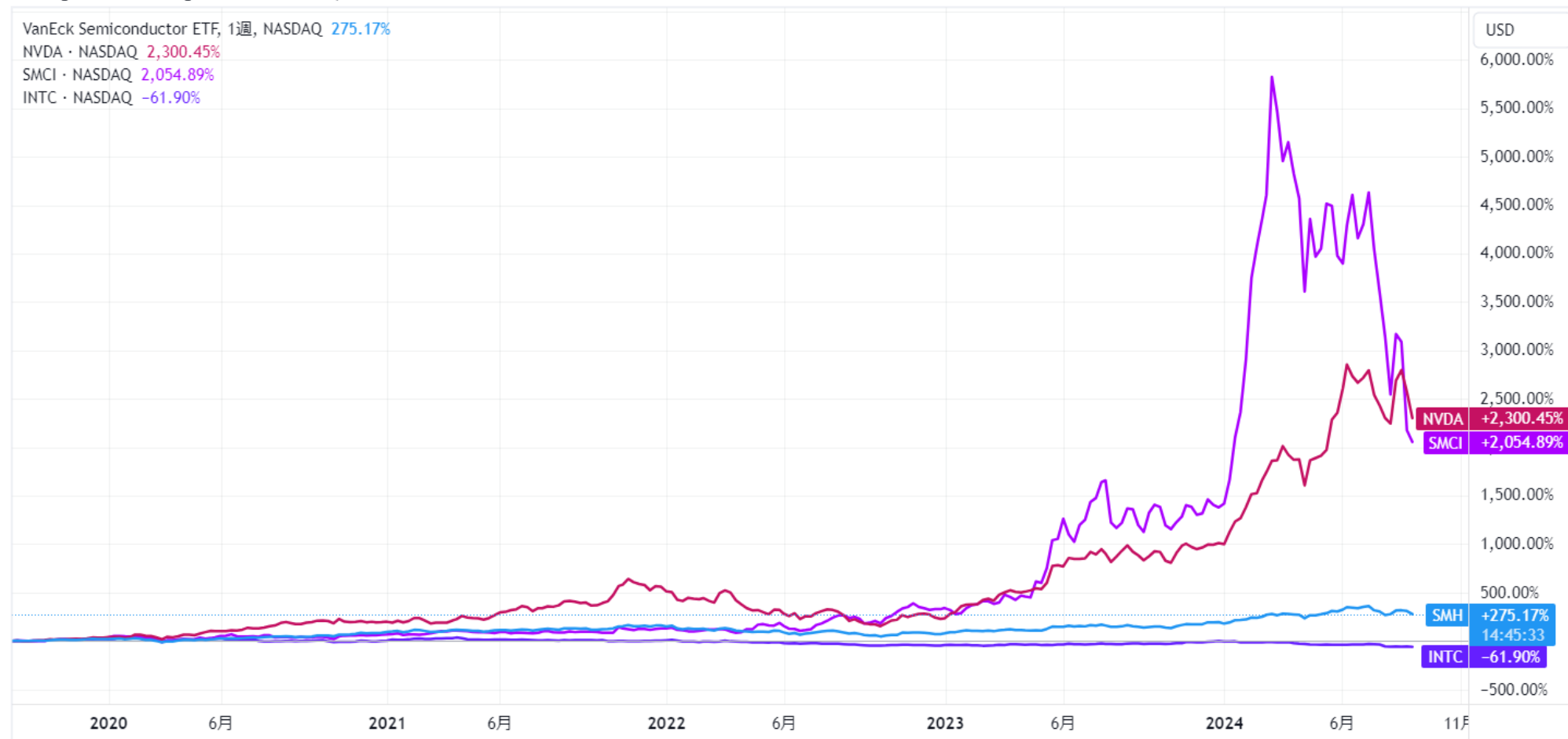
②SPDR Gold Shares (GLD)

- 概要: 金価格の動きに連動するETF
- 特徴: 金価格に直接投資したい投資家に人気

② リスクリワード-SMHと個別株

5年間だとNVDA・SMCIはSMHよりはるかにリワードが高い
インテルはリワードがマイナスになる

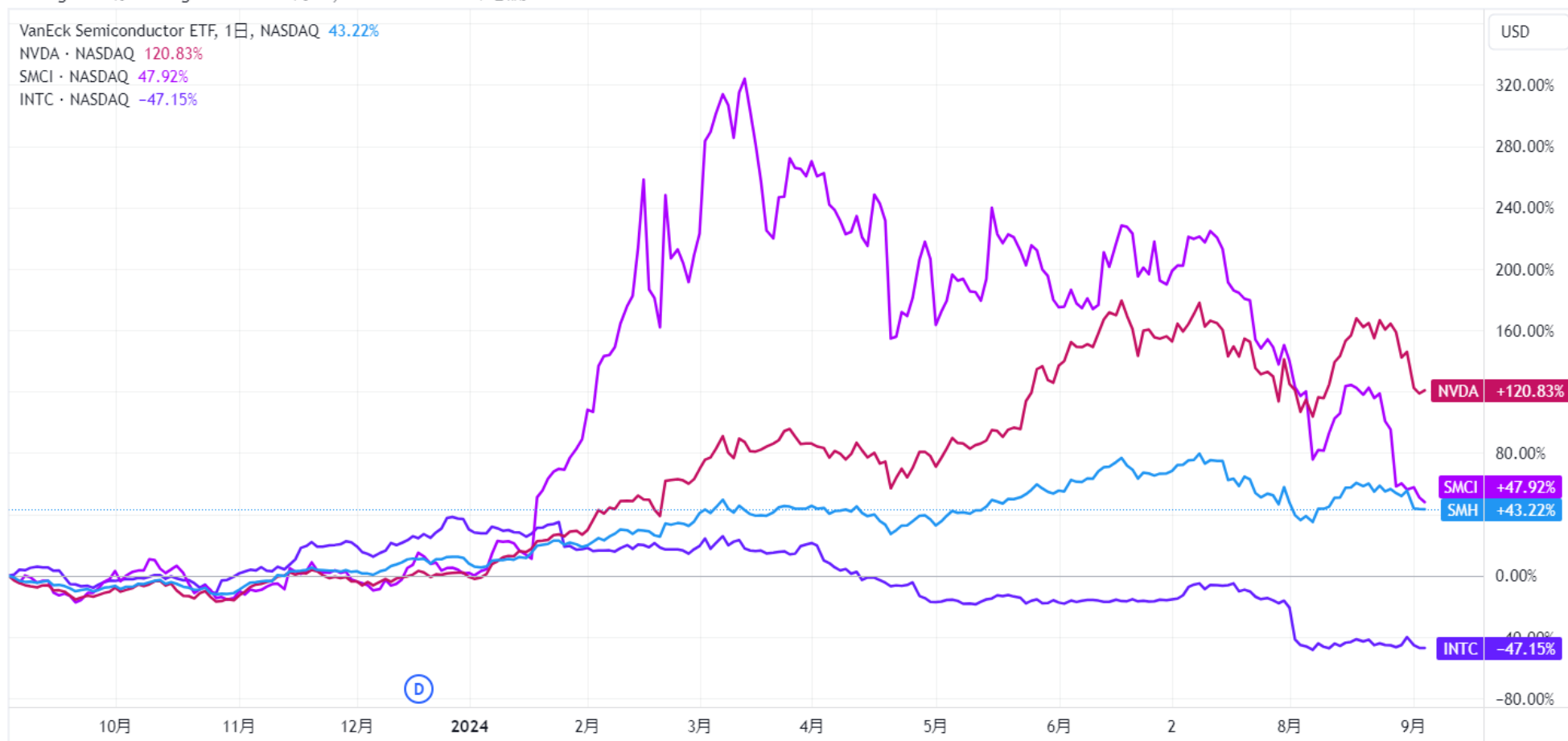
momiage0088 が TradingView.com で 9月 06, 2024 00:14 UTC-5 に公開



② リスクリワード-SMHと個別株

1年間だとSMCIはSMHはリスクリワードはSMHがベター
インテルは大きく劣後

momiage0088 が TradingView.com で 9月 06, 2024 00:16 UTC-5 に公開



② リスクリワード-QQQと個別株

5年間だとQQQが圧倒的にリワードが高い
CRMも底で買えばリスクリワードはそれなり、PYPLは・・・

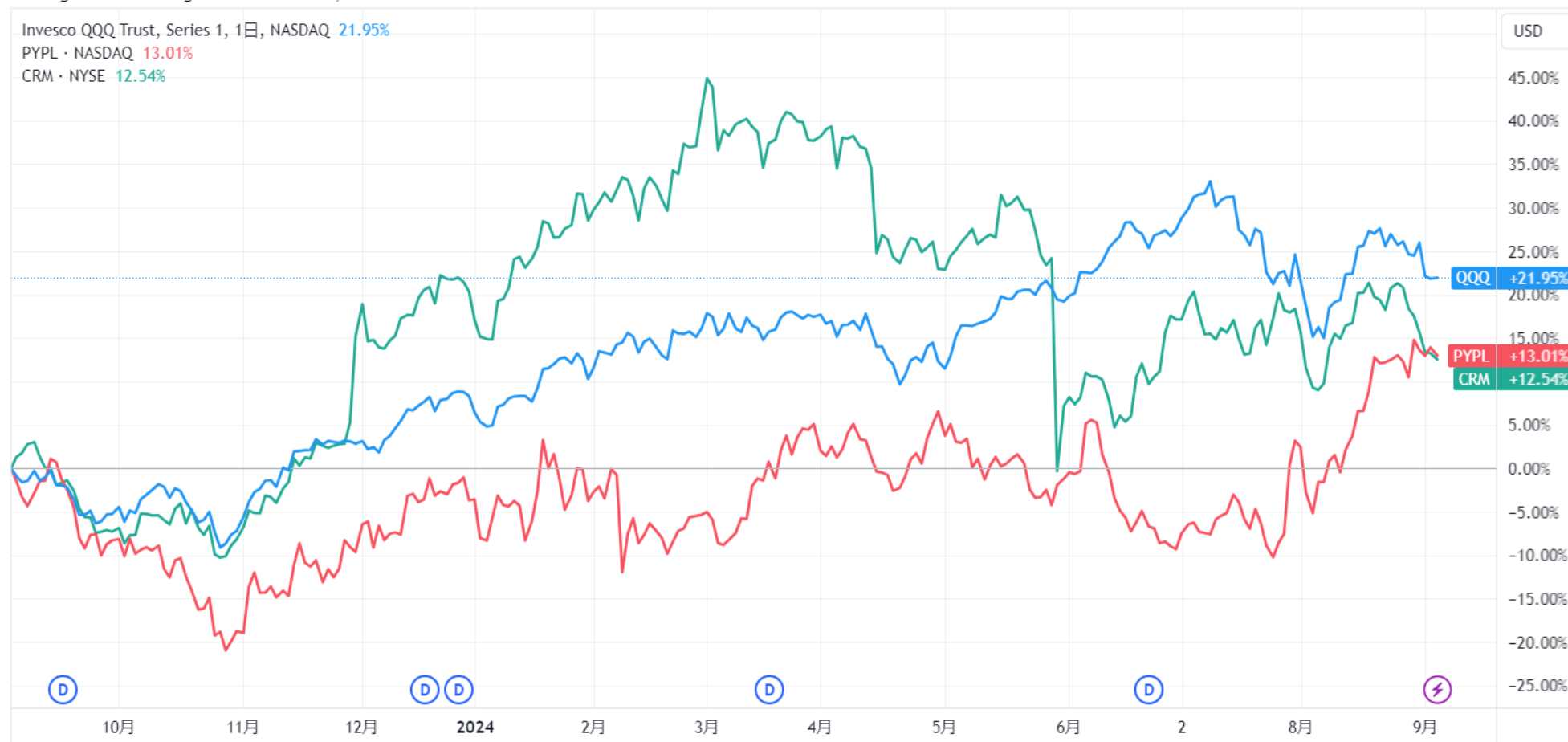
momiage0088 が TradingView.com で 9月 06, 2024 00:39 UTC-5 に公開



② リスクリワード-QQQと個別株

1年間だとPYPLがリワードが最も高い
QQQは安定、CRMはリスクリワードが低いことになる

momiage0088 が TradingView.com で 9月 06, 2024 00:40 UTC-5 に公開



③運用が簡単・費用対効果高い

- ・ 個人では運用不可の厳格なルールと基準で運用される
- ・ ETFなら1口からいつでも投資可能

S&P500指数に関して

【採用条件】

- ・ 米国企業である
- ・ 時価総額が53億ドル以上
- ・ 四半期連続で黒字利益を維持している
- ・ 株に流動性があり、浮動株が発行済株式総数の50%以上ある

ナスダック100に関して

【採用条件】

- ・ ランキング75位以内は指数に採用される。
- ・ 現時点での採用企業で、ランキング100位以内の企業は採用される。
- ・ 上記基準で採用企業が100社未満の場合、前回の入れ替え時100位以内であった現指数採用会社で、今回のランキング101位から125位のものをランキング順に採用する。
- ・ それでも100社に満たない場合、現採用会社以外でランキング順に100社となるまで追加する。

④長期で保有・運用しやすい

- ・ 時価総額加重平均、銘柄入れ替えが行われる
- ・ 機関投資家を信頼して任せるのも大切

・ 時価総額加重平均で年に何度かリバランスが行われ、株価が高い銘柄の比率がETF内で大きくなる。
VOOはSP500に準じて、QQQはナスダック100に準じている

【S&P500】

- ・ 銘柄入れ替えを年4回検討

【ナスダック100】

- ・ 年1回12月に入れ替え（例外：モデルなど）（テスラはSP500の7年前に組み入れ）

→ETFの指数にそぐわない、パフォーマンスが悪い銘柄などは年に何回かの調整によって入れ替えが行われる。

・ 個人投資家が上記を実施する場合は週1日はチェックが必要になる。また100銘柄や500銘柄でパフォーマンスの上下を比較検討せねばならず相当な時間を要する。

→機関投資家はプロの専門家、もちろん全ての資産運用会社を信用することはできないが今回紹介した3大資産運用会社などのETFは信頼できる

楽天証券ETFランキング

レバレッジ型での短期リターン狙いが多い
特に半導体関連に注目が集まっている

順位	ティッカー	銘柄名
1	→	SOXL DRX SEMICON BL3X(Direxion デイリー 半導体株 ブル 3倍 ETF)
2	→	SOXS DRX SEMICON BR3X(Direxion デイリー 半導体株 ベア 3倍 ETF)
3	↑	QQQ INVESCO QQQ(インベスコQQQ 信託シリーズ1)
4	→	NVDU DRX NVDA BL2X(Direxion デイリー NVDA株 ブル2倍 ETF)
5	↑	VOO VANGUARD SP 500(バンガード・S&P 500 ETF)
6	↓	VTI VANGUARD TTL MKT(バンガード・トータル・ストック・マーケットETF)
7	↑	NVDL GNS NVDA BL2X(グラナイトシェアーズ2倍ロングNVDAデイリーETF)
8	↓	TMF DRX DL 20TR BL3X(Direxion デイリー 20年超米国債 ブル3倍 ETF)
9	↓	TQQQ PRO ULTRAPRO QQQ(プロシェアーズ・ウルトラプロQQQ)
10	↑	SPY SPDR SP500 TRUST(SPDR S&P 500 ETF)

- ・全体的にレバレッジ型が多いので短期での大きなリターン目指し
- ・NVDAのブルETFが人気

メリット

短期で動向を見極められれば大きなリターンが期待できる

デメリット

長期保有前提ならコストが高い

楽天証券ETFランキング

レバレッジ型が11位以降も人気
それ以外だと債券関係のETFや高配当も

順位		ティッカー	銘柄名
11	→	SPXL	DRX DL SP500BL3X(Direxion デイリー S&P 500 ブル3倍 ETF)
12	↓	TECL	DRX DL TECH BL3X(Direxion デイリー テクノロジー株 ブル 3倍 ETF)
13	↑	VT	VA WORLD STOCK(バンガード・トータル・ワールド・ストックETF)
14	↑	TSLA	DRX TSLA BL2X(Direxion デイリー TSLA ブル2倍株式)
15	NEW	TNA	DRX DL SCAP BL3X(Direxion デイリー 米国小型株 ブル3倍 ETF)
16	↑	SQQQ	PRO ULTSHORT QQQ(プロシェアーズ・ウルトラプロ・ショートQQQ)
17	↓	EDV	VA EXTD DURAT TR(バンガード・超長期米国債ETF)
18	↓	TLT	ISHARES 20YR TR(シェアーズ 米国国債 20年超 ETF)
19	↓	VYM	VNG HI DIV YIELD(バンガード・米国高配当株式ETF)
20	NEW	DPST	DRX RGN BNK BL3X(Direxion デイリー 地方銀行 ブル3倍 ETF)

- ・ EDV & TLT & VYMなど高配当ETF人気
- ・ DPSTやTNAなど特殊ブル銘柄
- ・ 依然としてブルレバレッジ需要高い

メリット

- ・ 動向が見極められれば短期で大きいリターンが得られる

デメリット

- ・ 地銀や小型など経験値が高い投資家でも動向を読むのが難しい

楽天証券NISA ETFランキング

順位		コード	銘柄名
1	→	VYM	バンガード・米国高配当株式ETF
2	↑	VTI	バンガード・トータル・ストック・マーケットETF
3	↓	VOO	バンガード・S&P 500 ETF
4	↑	SPYD	SPDR ポートフォリオS&P 500 高配当株式ETF
5	↓	EDV	バンガード・超長期米国債ETF
6	→	QQQ	インベスコQQQ 信託シリーズ1
7	→	SPY	SPDR S&P 500 ETF
8	↑	VT	バンガード・トータル・ワールド・ストックETF
9	↓	HDV	シェアーズ コア米国高配当株 ETF
10	↑	VIG	バンガード・米国増配株式ETF

- ・ 配当狙いのETFが多い
VYM、SPYD、EDV、HDVなど
- ・ シンプルに指数連動型が多い

メリット

リスクリワードが高い、堅実なETFが多くこのランキングを参考は◎

デメリット

短期的なリターンはあまり期待できない。長期投資向き

楽天証券NISA 米国個別株ランキング

- ・半導体銘柄が非常に多い→但しINTCなど含まれてるならSMHでいいのでは？
- ・他はテック大型が多く比較的堅実→LLYは糖尿病と肥満症薬のブロックバスター
- ・JMIAは一部SNSではやってるが仕手株の大底狙い（・・・超ギャンブル）

順位		コード	銘柄名	業種
1	→	NVDA	エヌビディア	半導体
2	↑	INTC	インテル	半導体
3	↓	TSLA	テスラ	自動車
4	↑	MSFT	マイクロソフト	ソフトウェア・サービス
5	↓	ARM	アーム・ホールディングス	半導体製造
6	↑	AMZN	アマゾン・ドット・コム	小売
7	↑	LLY	イーライリリー	医薬品
8	→	AAPL	アップル	コンピュータ
9	↑	JMIA	ジュミア・テクノロジーズ	小売
10	↑	GOOGL	アルファベット クラスA	ソフトウェア・サービス

オススメETF

S&P500
インデックス
(全米含む)

VOO

配当率1.28%
507銘柄
経費率0.03%
時価総額荷重平均

VTI

配当率1.36%
3,793銘柄
経費率0.03%
時価総額荷重平均

- ・定番だが最も信頼できる長期投資の軸になるETF
- ・トップ10の比重が重い（25%以上、テック大型）
- ・無敵&最強ではない、暴落では想像以上に下落

成長

QQQ

配当率0.61%
101銘柄
経費率0.2%
時価総額荷重平均

SMH

配当率0.43%
323銘柄
経費率0.35%
時価総額荷重平均

- ・ナスダックと半導体は現在運命共同体
- ・暴落時はSP500の1.5倍ほど落ちるイメージ
- ・長期で考えるならQQQの方が優勢

高配当

VYM

配当率2.8%
554銘柄
経費率0.06%
時価総額荷重平均

HDV

配当率3.23%
82銘柄
経費率0.08%
時価総額荷重平均

- ・VYMはVOOの高配当偏重型
- ・HDVはトップ10で60%近くを構成（大型高配当）
- ・四半期に1回の配当インパクトが大きい

オススメETF

債券

TLT

配当率3.72%
経費率0.15%
純資産額620億ドル
48の生債券で構成

- ・ 20年債の動きに連動するETF、30年債に連動するETFにEDVも
- ・ インフレ状況化では非常に脆弱、景気後退時に強み
- ・ ブラックロックが運用

金

GLD

配当率0%
経費率0.4%
純資産額697億ドル

- ・ 金価格と連動
- ・ ステートストリートが運用
- ・ 政情リスクなどに強い（リセッションに強いわけではない）

長期安定

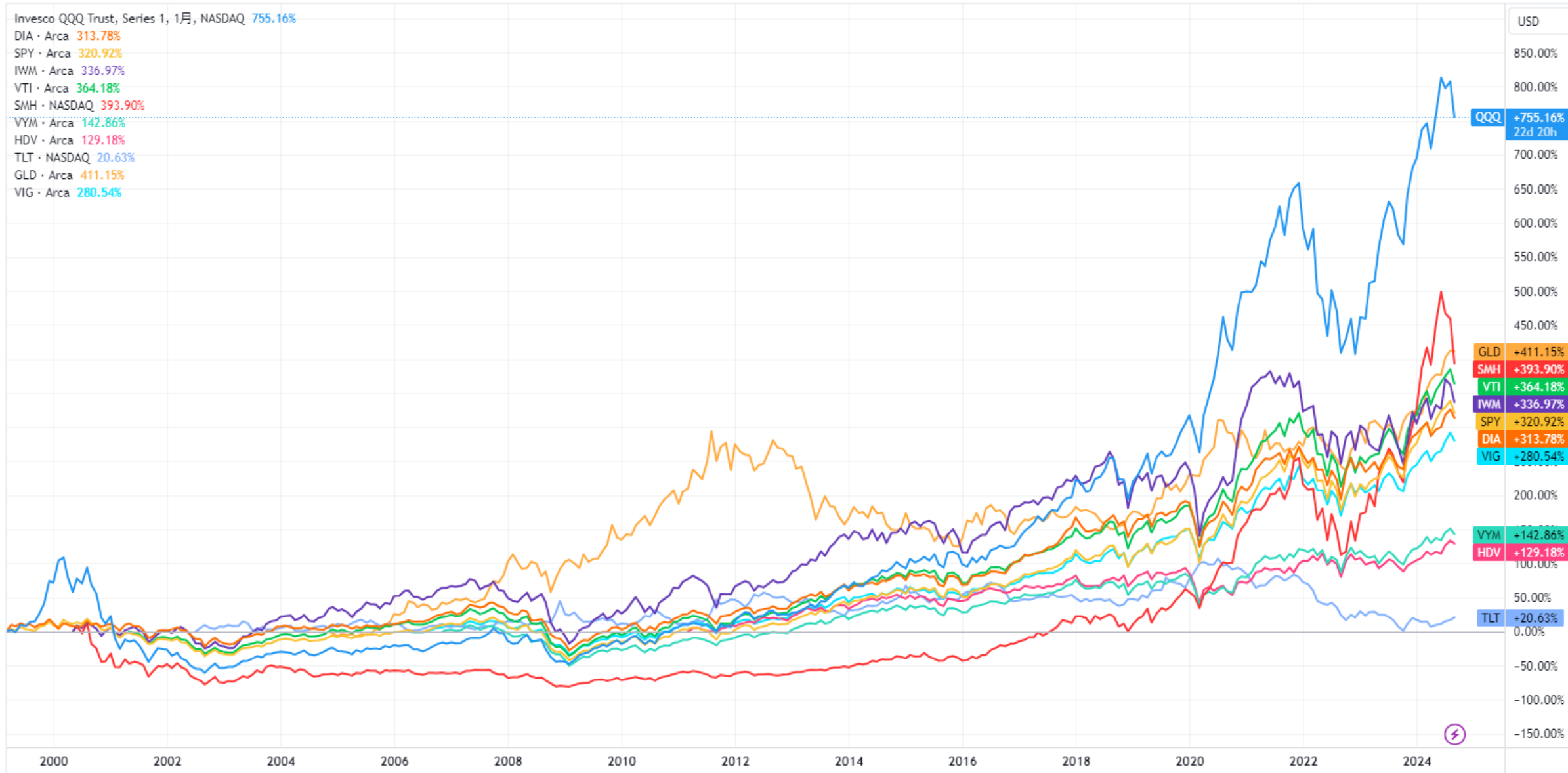
VIG

配当率1.7%
342銘柄
経費率0.06%
純資産額1000億ドル

- ・ 連続増配10年以上の銘柄で構成
- ・ S&P500に比べるとディフェンシブ耐性が強い
- ・ アップル・ブロードコム・マイクロソフトも対象

オススメETF-パフォーマンス

momiage0088 が TradingView.com で 9月 07, 2024 19:21 UTC-5 に公開



ETFの選び方サマリー

1. 難しいならSP500一択（VOOやSPYなど）
2. リスクの取り方を考える（家庭・環境に応じて）
3. 焦らない（マイペースが大切・新NISA）
4. 株式はリスク資産（生活防衛資金は残して）

終わりに

- ・ 個人投資家はマイペースに
- ・ 誰も未来は予想はできない。予想が外れたらアジャストする柔軟さは大切
- ・ チャンスを逃さない準備も同時に
- ・ 周りに影響されずコツコツと

マーケットが悪化してから慌てずに、常に守りも意識して投資を継続しよう！